

みずばしょう

『敬老の日』特集



9月号

敬老の日

今年も盛大に敬老の日のお祝いをさせていただきました。
ボランティアには、フルート奏者の方に来ていただき優しい調べに心癒されました。



9月の管内の様子





十五夜 豆知識



地域によって違いはありますが、お月見にはお供えをするのが決まりです。お供えには1つひとつに意味があります。一部を紹介します。

ススキ

ススキは秋の七草の1つ。

白い尾花が稲穂に似ている、魔除けになるという理由で供えるようになりました。

月見団子

丸い団子を月に見立て、感謝の気持ちを表わすそうです。

団子の数は十五夜なら15個。ピラミッドのように積んで供えます。

これは一番上の団子が霊界との懸け橋になると考えられていたからです。

農作物

里芋、栗、枝豆など収穫されたばかりの農作物を供え、豊作に感謝していたようです。

中でも里芋を供えるのは一般的で、「中秋の名月」は「芋名月」の異名をもちます。

風習

お供えだけでなく、独特の風習も各地に伝わっています。

もっとも多いのが「お月見泥棒」です。

これは「月見のときだけはお供え物などを勝手に取ってもよい」というもの。

たとえば長崎県の一部では「まんだかな」といい、子どもがお供えを自由に取っていきます。

また秋田県仙北郡では「片足御免」といい、他人の家に片足を踏み込んでお供えを取るくらいは許されるそう。

どちらも「お月さまがお供えを食べた」ととらえ、喜びます。

月は、多くの和歌の題材にもなっています。

例えば下記の歌。

**めぐり逢ひて見しやそれとも分かぬ間に
雲隠れにし夜半の月影**

紫式部

「久しぶりにめぐり逢い、見定めをつかないうちに雲間に隠れてしまった夜半の月のように、貴方はあわただしく姿を隠してしまい残念です。」という意味です。

あの百人一首にも、11もの歌に“月”が登場しているんですよ。



今月のイベント食



施設からのお知らせ

秋の健康診断が始まります。レントゲン等を病院にて行います。

10月の行事

芋煮会
フラワーアレンジメント

空室状況

10月1日現在♪

らいふつくば花畑

空室 0